

市議会だより



発行 伊東市議会 議長 楠田一男
 編集 議会報編集委員会
 伊東市議会事務局
 電話32-1981(直通)FAX38-6916

大室山



表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
 つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 6月定例会の概要……………【P.2】
- 一般質問(9議員が登壇)……………【P.4】
- 常任委員会だより……………【P.11】
- 特別委員会中間報告……………【P.12】



平成21年6月定例会

31件の議案等を審議

6月定例会を6月15日から6月26日までの12日間の会期で開会しました。

市議会6月定例会で審議した議案等

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部改正に伴う改正について専決処分を行ったことの報告承認（市条例 平成21年3月31日公布、平成21年4月1日施行）	市長	賛成多数で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	”	市長	全会一致で承認
市認第3号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業実施のため、歳入歳出に1億8,892万1,000円追加したことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第4号	平成21年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第1号）専決処分の報告承認について	平成21年度の歳入から、5億114万8,000円の繰上充用に係る専決処分の報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	平成20年度伊東市一般会計予算繰越し報告について	平成20年度予算の一部(10事業：15億6,434万5,000円)を平成21年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市報第2号	平成20年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越し報告について	平成20年度予算の一部(2事業：4,358万5,000円)を平成21年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市報第3号	平成20年度伊東市介護保険事業特別会計予算繰越し報告について	平成20年度予算の一部(1事業：258万3,000円)を平成21年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市報第4号	平成20年度伊東市水道事業会計予算繰越し報告について	平成20年度予算の一部(1事業：4,000万円)を平成21年度に繰り越したことの報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第1号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	個人住民税の住宅ローン特別控除の創設、土地等の長期譲渡所得に係る特別控除の規定の追加等	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例	伊東市介護老人保健施設みはらしにおいて実施する介護サービスに介護予防通所リハビリテーション・介護予防短期入所療養介護を加えること、介護保険法等の一部改正による条項ずれの整理等	市長	全会一致で可決
市議第3号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第2号）	景観形成総合支援事業の採択を受けての旅館いな葉の改修に対する補助金、市民相談事業の拡充など、歳入歳出に1,513万7,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第4号 ↳ 市議第14号	住民票の写し等の交付に関する委託事務の変更に係る協議について 【協議する市町（7市、4町）】 沼津市、三島市、熱海市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、伊豆市、函南町、清水町、長泉町、小山町	駿豆地区広域市町村圏協議会を構成する本市以外の11市町と本市との間の住民票の写し等の広域交付に係る事務委託に関する規約について、新たに戸籍の記録事項証明に関する事務の取り扱いを行うことに伴い変更する必要が生じたための、市町との協議	市長	全会一致で可決
市議第15号	伊東市立湯川保育園の指定管理者の指定について	平成22年4月1日から湯川保育園を運営する法人として、社会福祉法人栄光会を指定する	市長	可否同数、議長裁決により原案可決
発選第1号	常任委員会委員の選任について	四宮和彦議員を常任総務委員会委員に、榎本元彦議員を常任福祉文教委員会委員にそれぞれ選任	議長	全会一致で選任
発選第2号	特別委員会委員の補欠選任について	四宮和彦議員を議会改革特別委員会委員に、榎本元彦議員を医療問題特別委員会委員にそれぞれ選任	議長	全会一致で選任
発選第3号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	有効投票21票のうち、楠田一男議員11票、三好陽子議員10票、阿南澄男議員0票、八木啓仁議員0票	議長	—
発議第1号	前議長に感謝状の贈呈について	第65代伊東市議会議長 佐藤一夫前議長に対する感謝状の贈呈	議員 6名	全会一致で可決

議案番号	件 名	内 容	提出者	審議結果
発議第2号	地上デジタル放送完全移行後における関東広域圏放送受信の特例を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 6名	全会一致 で可決
発議第3号	安心して医療を受けられる体制の拡充に関する意見書	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 6名	全会一致 で可決
市諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	萩原節子氏（吉田）	市長	全会一致で 推薦に同意
陳情第3号	所得税法第56条の廃止を求める意見書提出を求める陳情	陳情者 伊東民主商工会婦人部 部長 石川正代氏		不採択とすべしとした委員会 報告に対し賛成多数で不採択

**本会議で
行った討論
(概要)**

■伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例専決処分の報告承認について

《反対》日本共産党

上場株式の配当・譲渡益、株式投資信託の分配金などに係る本来の税率二〇%を半分の一〇%に軽減する証券優遇税制（いわゆる「金持ち優遇」制度）を二三年まで延長するものである。税は所得の再配分の意味を持つものであり、高所得者は応分の負担をすべきであるとする基本に反することから、反対する。

■伊東市立湯川保育園の指定管理者の指定について

《反対》日本共産党

保育理念や保育内容を引き継ぐことを含め、保護者の期待が高かったのは、函南ひまわり会であり、指摘された経営面の問題は、克服できると考えられる。

さらに、市内九園のうち、同一法人が三園を運営することになるが、新しい法人

に加わっていただくこと

によって競争原理が働き、保育内容の向上につながる。ことから、新たな法人を選定すべきである。

今回の議論を真摯に受けとめ、生かしていただくことを切望し、反対する。

《反対》民主党・刷新の会

湯川保育園は二年後に民営化されるが、その際同じ法人に引き継ぐことを前提とするならば、今までの論議が生かされず、反対する。

■所得税法第五六条の廃止を求める意見書提出を求める陳情

《賛成》日本共産党

所得税法第五六条では、「配偶者、家族が事業に従事したとき、対価相当額は必要経費に算入しない」とされている。

しかし、欧米先進国、韓国でも家族の給料は必要経費として認められている。

この陳情の不採択は、このような人間としての当たり前の要求をないがしろにするものであり、委員会報告に反対し、陳情に賛成する。

新議員紹介

市長選挙と同時執行された市議会議員補欠選挙において、左記の二名が当選しました。



榎本元彦 議員 (42)

- 住所 大原三十一四一三
- 電話 (三八) 二二〇七
- 党派 清峰クラブ
- 所属委員会 常任福祉文教委員会、医療問題特別委員会



四宮和彦 議員 (47)

- 住所 大原一〇一三
- 電話 (三七) 五三三九
- 党派 民主党・刷新の会
- 所属委員会 常任総務委員会

議会改革特別委員会

新議員行政研究会

今後の議員活動に資するため、新たに当選した新議員の研修会である行政研究会を実施しました。

(六月一日)

■執行機関の概要説明

■市内各施設の視察

(六月二日)

■議事機関の概要説明



環境美化センターの視察

議会内の異動

●五月二十七日

会派民政が「民主党・刷新の会」に会派名を変更し、新たに四宮和彦議員が加入しました。

●六月一日

清峰クラブに新たに榎本元彦議員が加入しました。

一 般 質 問

9議員が登壇／市政全般について質問

(登壇順に掲載)

新たな任期の市政運営に
取り組む姿勢について伺う



民主党・刷新の会
鈴木克政 議員

佃市長におかれては、今後の任期四年間に、市民目線での市政運営を強く望むものである。

今回の市長選挙は投票率が非常に高く、六四・一九％は前回の市長選を一〇・七四ポイント上回った。投票日前の報道では五五％から六〇％との見方が一般的と報じられていたが、我々も六〇％を超えることは難しいと思っていた。

このことは、市民が今回の市長選に大変強い関心を持っていてこのあらわれであったと改めて感じたところである。

相手候補者への一万九一七三票は市長に対する大きな不信任票でもあり、選挙後の地元新聞では、「批判

票を投じた有権者も少なくなかったことがうかがえる。選挙結果を真摯に受けとめ、修正すべきところは修正し、伊東創造へ市民総参加のまちづくりが望まれる。」と結んでいる。

市長選挙の結果を踏まえ、新たな任期四年間の市政運営に取り組む姿勢について伺う。

新たな伊東をつくっていく「伊東創造」に全力を尽くしたい

市長

私は、選挙は選挙と考え、これからの新たな任期の四年間については、これまでの一期四年間の行政運営の取り組みの実績、成果を十分に踏まえた上で、市民の暮らしを守り、生活に潤いのあふれた、夢と希望に満ちた魅力ある観光地伊東の実現に向け、全力で取り組んでまいり所存である。

まちづくりの施策としては、人にやさしいまちづくり、安心・安全なまちづくり、魅力あるまちづくり、

産業振興によるまちづくりを大きな四つの柱として掲げ、これまでと同様、現場を大切にする現場主義を貫き、健康、観光、改革を初めとする三つの「K」に、

経済対策、子育て支援、教育、環境、危機管理を加えた「ITOK」と、伊東の八つの景観に磨きをかける施策展開を進め、新たな伊東をつくっていく「伊東創造」に全力を尽くしたい。

『その他の質問項目』

■ 社会福祉行政における伊東市社会福祉協議会の役割について伺う

■ 本年三月に策定された「伊東市が所有する公共建築物耐震化計画」について伺う



『伊東創造』のため『8K』を掲げる伊東市

伊東市文化財管理センターの活用を図るため、伊東ふれあいセンターでの文化財展示を提案するが、考えを伺う



正風・興志会
西島 彰 議員

伊東市文化財管理センターは、市内の出土文化財や先人が残した貴重な文化遺産を収集保管し、後世に伝える目的で平成八年に開設されたが、一日当たりの来館者は六名程度となっており、郷土伊東の歴史文化の教材として学校教育等に生かされている施設と呼ぶにはほど遠いものと言える。

利用度が低い要因の一つに立地条件が挙げられるが、伊東ふれあいセンターへ文化財の移設を想定した場合、東海館、松川遊歩道、奈太郎記念館等と結んだ周遊散策ができる観光的な活用が可能となり、子供から高齢の方まで多くの市民の利用

度も増加すると考えられる。
このことにより、歴史、文化と観光が融合した事業の掘り起こしにつながる。ことから、伊東ふれあいセンターでの文化財展示を提案するが、考えを伺う。

常設展示の可能性について調査、検討する

市長

伊東市文化財管理センターの活用については、収蔵品の展示、市民を対象とした勾玉づくり講座を積極的に実施しており、子供に対しても学校教育の中で郷土を知ることの大切さを学んでもらうため、学芸員の説明による見学会等も開催している。

また、健康保養地づくり実行委員会と連携を図る中で、同センターをゆつたり湯めまちウォークのコースに取り入れ、観光施設の一つとしても活用している。

議員提案の伊東ふれあいセンターでの本市文化財の展示については、活気ある観光のまちづくりに資する

事業にもつながると考えており、常設展示の可能性について調査、検討していく。
『その他の質問項目』

■元気ある商店街づくり応援事業の支援拡大について、考えを伺う

■吉田初三郎作観光鳥瞰図を活用した観光鳥瞰図展及び伊東温泉観光鳥瞰図公募展の開催を提案するが、考えを伺う

■景観計画策定に向け、本市が目指す松川の親水景観のあるべき姿について、どのように反映させていくのか、考えを伺う

■松原寺山地区の防災対策として、防火水槽の設置が必要と思われるが、考えを伺う



文化財管理センターに展示されている文化財

本市の企業誘致策について伺う



清峰クラブ
稲葉 富士 憲 議員

本市においては若者の働く場がなく、常々、子供たちは仕事を求めて都会へ出てしまうと嘆く親たちの声があり、今回の経済危機の中で、改めて、観光のみならず、企業誘致を行う必要があるとの指摘を受けた。

企業誘致の一般的な方法としては、広い工業団地を造成し、補助金の交付や税金面での優遇措置により、企業を誘致する方法が知られているが、工場の誘致は、景気の動向によるリスクを伴うとともに、一九九〇年代に造成された工業団地の多くは思うように企業が集まらず、借金により造成を行った地方公共団体は、多額の金利負担を強いられるとのことである。

そもそも、広い平らな土地がなく、自然環境が魅力の観光地である本市に工場誘致はすぐわれないと言える。そこで、本市の企業誘致策として何をすべきか、さまざまなアイデアを集め、議論を深めるための原点として、本市の企業誘致に関する基本的な姿勢、これまで行ってきた本市の施策、今後考えられる施策について伺う。

情報収集を進める中で、本市にふさわしい企業の誘致に取り組んでいく

市長

本市は、観光立市として、温泉を初め、優れた自然環境こそが財産であるとの認識から、本市にふさわしい企業誘致として、研究所、研修所、保養所等の誘致を進めているところである。

これまで静岡県企業立地推進連絡会へ加入し、引き合い情報等の収集を行うとともに、県及び県東部一五市町等で組織する静岡県東部地域産業活性化協議会に

において、企業立地促進法に基づく基本計画の策定を行い、本年二月二十四日に国の同意を得て、税制上の優遇措置や有利な貸付制度等の利用が可能となったことから、今後とも国・県等と連携し、情報収集を進める中で、本市にふさわしい企業の誘致に取り組んでいく。

『その他の質問項目』

■ごみ処理について

・有料化後の減量策

・焼却炉の新設を含めた今後のごみ処理体制

■医観連携システムの構想及び具体的施策について

■第四次総合計画について

・策定の手順

・第三次総合計画との相違点



本市にふさわしい企業の誘致が求められる

国民健康保険に係る窓口負担金の減免及び徴収猶予の周知について



日本共産党
大島春之議員

たび重なる診療報酬の改定と長期不況の中で、負担に耐えかねて、診察を受けることをちゅうちょしたり、退院をする市民が大勢いる。国民健康保険加入世帯のうち、二〇〇万円以下の所得の世帯が七二・五％にも上り、暮らしの厳しさを如実にあらわしている。

また、早期発見、早期治療は、患者の身体的負担を和らげるとともに、医療費抑制にもつながるが、医療費の負担が重いため、ぎりぎりまで我慢をして重症度を増し、医療費も高騰するという悪循環が起きている。保険料は厳しく取り立て、さらに窓口負担増で医療機関の敷居が高くては、「保険あつて医療なし」となつ

てしまふ。

国民健康保険法第四四条に基づき、本市では平成一八年に「国民健康保険一部負担金の減免及び徴収猶予に関する取扱要綱」を制定したが、申請方式であるこの制度の適用を受けた市民はいまだ一人もおらず、この制度自体を知らない市民が多数いると考えられる。したがって、この制度を広く知らせる必要があるのではないかと思うが、いかがか。

制度の周知を含め、利用できるように対応していく

市長

さまざまな事情で一部負担金の支払いが困難な方については、減免や徴収猶予ができることになっているが、収入月額の基準が、生活保護の基準額を準用したものととなっているため、相談の段階で、より費用負担の手厚い生活保護に移行する傾向があるためか、現在のところ利用されていない。しかしながら、生活保護

を受けられない方などについては、周知を含めてこの制度を利用できるように対応していきたいと考えている。

『その他の質問項目』

■市民の命を守るため安心して病院にかかれるよう
・乳幼児医療費の窓口負担五〇〇円を撤廃すべきでは

・市民病院を無料定額診療事業の指定機関にするべきでは

■市民の命を守るため市役所各部署間の情報共有等のネットワーク強化を図るべきでは

■緑化保全の観点から、剪定枝、落ち葉などの無料収集を図るべきでは



国民健康保険のパンフレット

観光振興に関し、国際観光地盤整備事業等の具



民主党・刷新の会
竹田昭直議員

日本最大のアミューズメントパークである東京ディズニーランドは、ことしオープンから二六周年を迎えたが、人気は増す一方である。その理由は、アトラクション・食事・関連グッズ等が常に新鮮で、何度行っても新しい出会いがあるからと考えられる。

伊豆半島も、すばらしい自然景観を備えた半島であり、潮薫る海があり、神秘的な天城連山があり、多くの清流がある。

このような自然景観を含む観光資源を生かし、観光客が何度来ても新鮮さを感じるものとして、伊東競輪場の施設及び用地の再整備、伊東市海岸線ウォークポイント整備、伊豆高原のアー

ビレッジ整備について提案させていただく。

また、市長は伊豆半島サミット会長でもあるが、伊豆半島を一つとした観光誘客についても尽力いただくとともに、六市六町が一丸となつて行う具体的な観光振興策について伺う。

伊豆半島の六市六町で協働体制を構築し、新たな伊豆の魅力づくりに取り組んでいきたい

市長

伊豆半島全体で一丸となつた観光振興策については、各地域が持っている集客力を相乗的に高め、魅力ある観光資源を広域的にネットワーク化することが必要であると考えている。

本市としては、伊豆半島の他市町へ積極的に働きかけをする中で、伊豆半島の六市六町が各圏域を越えて連携・協力し行う観光振興の取り組みを促進していく協働体制を構築し、新たな伊豆の魅力づくりに取り組んでまいりたいと考えてい

る。

『その他の質問項目』

■富士山静岡空港開港に向けた、インバウンド事業推進について

■市民の安全・安心を確保するための危機管理対策について

・ 新型インフルエンザ対策について

・ 危機管理監の役割について

・ 災害等の風評被害対策について

■第四次伊東市総合計画の策定に当たり、市民の意見の反映方法及び策定日程等について



本市の代表的な誘客施設である伊東マリンタウン

県のがん対策推進計画に掲げられた目標値に向けた本市の取り組みを伺う



公明党
鳥居康子議員

東大病院放射線科中川恵一氏著作の「がんのひみつ」では、「日本人はがんに対する知識が乏しいが、その理由として、日本人が永遠に生きられる錯覚に陥っているのではないかと推測する。がん治療の進歩により半数は治癒する時代となり、身近な病気だからこそ、がんを知ることが大切である。」と書かれている。国としても検診受診率を向上させるべく、交付税措置の予算を昨年の倍とするとともに、「がん対策基本計画」を閣議決定し、検診受診率を五年以内に五〇%以上とする目標値を設定し、各都道府県においても同様の数値目標が掲げられたが、この目標値の達成のための

諸施策を伺う。

また、乳がんや子宮頸がんなどの女性特有のがんに関しては、検診促進に対するさまざまな取り組みがされているところではあるが、国の補正予算の成立を受け「女性特有のがん検診推進事業」が開始されるが、その内容について伺う。

検診定員の増加を図るとともに、キャンペーン等により検診率の向上に努める

市長

各種のがん検診事業を実施しているが、実施時期、医療機関等が異なるため、最大で六日ほどの受診日数が必要となり、このことが、受診率低迷の一因とも考えられている。

平成二〇年度の受診率は約一六%であり、五年以内に五〇%以上とすることは大変厳しい状況であるが、本年度は検診定員の増加を図るとともに、キャンペーン実施や検診啓発チラシ配布等による受診率の向上に努めている。

「女性特有のがん検診推進事業」は、一定の年齢に達した女性に対し、乳がん及び子宮頸がんの検診の無料クーポンを配付するとともに、検診手帳を交付し、検診率の向上及び早期発見、また、健康意識の普及及び啓発を図る事業である。

『その他の質問項目』

■中学校給食のあり方に関し、今年度中に方向性を示したいとの考えを示されているが、将来的に全中学校における給食を実施するの如何

■地震災害時の避難場所となる都市公園に係る防災拠点としての整備について伺う



市役所玄関で行われるがん検診

老朽化が進む市民グラウンドのトイレ改修について



清峰クラブ
榎本元彦議員

城星の市民グラウンドは、スポーツやゲートボールの大会だけでなく、地域住民の散歩など、子供からお年寄りまで、多くの市民に利用されているが、それにもかかわらず、トイレの老朽化が目立っている。

現在のトイレは、バリアフリー化への取り組みができない場所であり、今後、改修計画があれば、別の場所に移転したほうがいいのではないかと考えるが、いかがか。

ユニバーサルデザインにも配慮する中で、新設も含めて調査、研究していく

市長

市民グラウンドのトイレは、昭和四六年三月の建築

であり、老朽化が進んでいるが、部分的な修繕や、週三回の清掃を行い、維持管理に努めているところである。

しかしながら、使い勝手が悪いとの意見もいただいていることから、ユニバーサルデザインにも配慮する中で、どのような改修ができるのか、新設も含めて調査、研究をしていく。

『その他の質問項目』

■市内経済の活性化策として、市発注工事の着工時期を早めることと、さらなる景気対策を望むが、その計画について

■対中体育館の耐震化工事に伴う、昇降型照明器具の設置の予定について

■観光地伊東の活性化策として、奥野ダム及び城ヶ崎海岸の環境整備の計画や、按針祭を超える本市独自の祭りを創造する計画があるか

■子育て支援策として、通学路の安全確保をどのように行っているか

■南中で行われている、あ

いさつ運動に対する評価について

■通称大原台及び千坂地区住民は、大原町の住民であるが、住居表示が玖須美元和田となっていることから、大原町表示にできないか

■長年の懸案である、大原町から田代に抜ける道路の計画について、今後、路線の確保が可能であるのか

■東小グラウンドに設置される夜間照明の利用について

■大原町会館が老朽化していることから、建てかえを望む声があるが、どのような補助金が対象となるのか



市民グラウンドのトイレ

就学援助制度の周知と手続の改善について伺う



日本共産党 重岡秀子議員

経済的な理由により就学が困難な家庭に対しては、給食費、学用品費、修学旅行費などを免除する就学援助制度がある。生活保護を受けている家庭は自動的にこの制度の対象になるが、本市では生活保護の規定の所得の1・三倍くらいまでの家庭も、準要保護家庭として、同様の給付が受けられる制度だと認識している。

現在、観光不況や金融危機の影響で、仕事が激減したり、店が倒産するといった状況が進行し、母子家庭、父子家庭などの一人親家庭の状況は厳しさを増す一方である。

本制度の周知については、各学校に一任されているようであるが、市が主体とな

って、共通の方法でお知らせする手だてを考えるべきだと思いがいかがか。

また、近年、申請時に校長や担任、民生委員の所見もかなり詳しいものが必要とされるようになってきているが、生活が困難な家庭がこの制度を利用しやすいように、申請方法を簡略化するなど、手続の改善を図るべきであると考えているが、いかがか。

伊東市就学援助制度の目的達成のため、学校を通して保護者への周知をさらに進めていく

教育長

経済的に就学困難な学齢児童・生徒に対しては、教育基本法第四条及び学校教育法第十九条において、その保護者を対象に就学援助が実施されている。

本市においては、小学校入学時の保護者説明会において文書を配付し、その趣旨や申請方法を保護者にお知らせしている。

認定については、関係法

律の規定を準用する中、伊東市就学援助要綱に基づき、保護者から校長に提出された申請書等を教育委員会の認定委員会で検討し決定している。

今後においても、制度の目的を達成するため、学校を通して保護者への周知をさらに進めていく。

『その他の質問項目』
■奨学金制度の現状と今後のあり方について

■五月の連休に行われた「阿波おどり」はどのようなイベントで、今後も継続するのか

■一碧湖をさらに観光に生かすために駐車場を確保すべきと考えるが、どうか



小学校の放課後の風景

新病院建設について、今後実施設計に向け、基本設計をどのように改善すべきと考えるか伺う



日本共産党
佐藤美音議員

新病院建設費については、本体工事費、外構工事費、医療機器購入費を合わせ総額八〇億円ほどになると考えられている。

膨大な建設費が後年度の市民負担を過重にしないため、基本設計の施設内容に検討を加えるべきと考える。建設費を大きくする重症患者搬送のための屋上ヘリポート、医療スタッフも多数必要とされる集中治療室一四床の計画は二重投資とならないか。

さらに、南伊東駅方面からの外エレベーターを設置するよりも、病院と駅を結ぶバスを運行する方が高齢者や障害者にとっても優し

く、建設費や維持費の節減にもなると考える。

これらを踏まえ、基本設計から実施設計に向け、市としてはどのような改善を考えているか伺う。

最新の医療動向を見きわめ、各機能の必要性を検証しつつ、事業費のより一層の縮減に努める

市長

市民からの医療の充実に関する要望として、救急医療に関する要望が高く、免震構造、ヘリポート、集中治療室は、救急医療の充実や大規模災害発生時における医療の確保を図る上で、必要不可欠であると考えている。

南側エレベーターについては、新病院の立地条件により、伊豆急行の利用者の増加が見込まれることから、南伊東駅から利用しやすい環境づくりが必要であり、さらには、南伊東駅周辺地域の方々からは、病院へのアプローチのバリアフリー化に対する要望があり、基

本設計において計画したものである。

今後、実施設計においては、最新の医療動向を見きわめ、各機能の必要性を検証しつつ、材料の見積もりによる比較や、仕様や工法等の見直しなども行うことで、事業費のより一層の縮減に努めていく。

『その他の質問項目』

■新病院建設費の資金繰りに係る事業計画及び医師や看護師の確保について
■国保税の引き下げについて

■「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の事業について



現在の市民病院

委員会の構成

常任総務委員会	委員長 久保谷 廠司 (正) 副委員長 稲葉正仁 (自)
	委員 鈴木克政 (民) 四宮和彦 (民) 西島 彰 (正) 井戸清司 (清) 佐藤美音 (共)
常任観光建設委員会	委員長 大島春之 (共) 副委員長 鳥居康子 (公)
	委員 伊東良平 (民) 横沢 勇 (民) 稲葉富士憲 (清) 三枝誠次 (自)
常任福祉文教委員会	委員長 浅田良弘 (民) 副委員長 土屋 進 (正)
	委員 竹田昭直 (民) 榎本元彦 (清) 佐々木 清 (清) 佐藤一夫 (公) 重岡秀子 (共)
議会運営委員会	委員長 伊東良平 (民) 副委員長 久保谷 廠司 (正)
	委員 浅田良弘 (民) 土屋 進 (正) 佐々木 清 (清) 鳥居康子 (公) 佐藤美音 (共)
議会改革特別委員会	委員長 佐藤美音 (共) 副委員長 西島 彰 (正)
	委員 浅田良弘 (民) 四宮和彦 (民) 竹田昭直 (民) 久保谷 廠司 (正) 井戸清司 (清) 佐々木 清 (清) 鳥居康子 (公) 三枝誠次 (自)
医療問題特別委員会	委員長 鈴木克政 (民) 副委員長 大島春之 (共)
	委員 伊東良平 (民) 横沢 勇 (民) 土屋 進 (正) 榎本元彦 (清) 稲葉富士憲 (清) 佐藤一夫 (公) 重岡秀子 (共) 稲葉正仁 (自)

※楠田一男議長 (公)、宮崎雅薫副議長 (正) は、それぞれ総務委員会、観光建設委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。

会派略名：(民) 民主党・刷新の会 (正) 正風・興志会 (清) 清峰クラブ (公) 公明党 (共) 日本共産党 (自) 自民輝21

全 員 協 議 会

六月二六日、六月定例会
閉会後に全員協議会を開会
し、当局から次の報告がさ
れました。

■伊東市土地開発公社経営
状況について

- ①平成二〇年度経営状況
- ②平成二一年度資金計画
及び予算

**市議会図書室
のご案内**



市議会図書室には、昭和
三四年からの市議会会議録
を初め、官報、県公報、議
会や行政に関する一般図書
等、約七七〇冊を所蔵して
います。

市議会図書室は、市民の
皆さんもご利用することが
できますので、希望される
方は、気軽に議会事務局ま
でお越しください。

なお、所蔵図書一覧につ
いては、ホームページをご
らんいただくか、議会事務
局までお問い合わせくださ
い。

市議会では、市民の皆様により市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっておりますので、ぜひごらんください。

- 市議会の仕組み 定例会と臨時会、代表質問と一般質問、質疑と討論の説明など
- 市議会の構成 議員、委員会、その他の会議の説明など
- 議員名簿 議員の顔写真、所属党派、所属委員会など
- 歴代議長・副議長一覧
- 委員会委員一覧
- 平成20年度版 市政の概要（抜粋版）
- 定例会・臨時会のお知らせ 会議の日程、議案審議結果一覧、代表・一般質問の要旨など
- 議会閉会中の活動状況 議会閉会中に開催された委員会など
- 行政視察 行政視察の実施状況や他市議会の視察の受け入れ状況など
- いとう市議会だより 過去1年間のバックナンバー
- 市議会の傍聴を！ 市議会の傍聴のご案内
- 請願・陳情、決議・意見書とは？ 請願などの説明のほか、書式
- 市議会図書室のご利用案内 利用案内、蔵書の一覧表
- 市議会の情報公開請求 情報公開請求に係る手続きの説明と請求の書式
- お問い合わせは
- 会議録検索システム 平成7年10月臨時会からの市議会会議録

インターネット市議会
ホームページのご案内



議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か ?

市政に対する真剣な議論
や、あなたが貴重な一票を
投じた議員の発言などを直
接ごらんになってみてはい
かがでしょうか。

傍聴席入り口で名簿に記
名等をしていただくだけの
簡単な手続きで傍聴するこ
とができますので、希望さ
れる方は、議会事務局（市
役所低層棟三階）まで気軽
にお越しください。



傍聴席から見た本会議の様子

みんなで守ろう



- 政治家は有権者に
寄附を贈らない
- 有権者は政治家に
寄附を求めない
- 政治家から有権者への
寄附は受け取らない

議員や有権者が、次の行為を行うことは法令で禁止され、処罰の対象となりますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

- 1 政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすること。
- 2 有権者が、威迫して、あるいは政治家を陥れる目的で寄附を求めること。
- 3 後援団体が、選挙区内にある者に対して花輪、香典、祝儀などを出すこと。
- 4 政治家が選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと。
- 5 政治家や後援団体が、選挙区内にある者に対する有料のあいさつ広告を出すこと。

常任委員会だより

～ 常任委員会審査の中から～

詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、
ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

問

今回の税賦課徴収条例の改正に伴い創設された住宅ローン特別控除の控除額を伺う。

答

一般住宅の場合、限度額は5,000万円、控除率が年1%、10年間で500万円、長期優良住宅の場合、限度額は同額であるが、控除率が年1.2%、10年間で600万円となる。

問

市民相談事業に関し、県補助金の交付に伴う事業の拡充内容、今後の継続予定、さらに、相談員の雇用を拡充する可能性について伺う。

答

消費生活相談や消費者への啓発活動を強化するとともに、消費者団体の育成等、新たな事業を23年度までの3カ年計画で展開する予定であり、消費相談員の雇用は、県の要綱により、補助金交付の対象外となっている。



ニーズにより拡充した市民相談事業

観光建設委員会

問

「旅館いな葉」に係るこれまでの整備状況と今後の計画について伺う。

答

昨年度に800万円を補助して屋根の改修を行ったところであるが、今年度は、望楼を中心とした外壁や、ぬれ縁、ホール、玄関、部屋の改修等を行い、年度内に同館の整備は完了する予定である。

また、同館の所有者からは、ことしの冬から一般に開放したい旨の意向を伺っている。

なお、平成23年度から、同館を景観法に基づく景観重要建造物に指定することの承諾書が所有者から提出されていることと、本市では、景観計画を策定中であるが、市民の意見を聴取したり、審議会への諮問を経て、来年度に完成する予定であることを申し添える。



旅館いな葉

福祉文教委員会

問

介護老人保健施設みはらしにおける、介護予防サービスの実施に至る経過について伺う。

答

介護保険法の改正は平成18年4月1日であるが、当初は要介護者へのサービスを優先し、現在は利用率約90%となる中で、施設としても要支援者の受け入れができるという判断をし、要支援者からの要望にこたえるため、平成21年7月1日から開始する予定である。



予防サービスを開始する『みはらし』

問

一般コミュニティ助成事業の実施経過及び助成対象費用の基準について伺う。

答

本事業については、平成7年度以降、毎年実施している。また、助成範囲は広範多岐にわたり、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るものであれば、対象となる。

特別委員会中間報告

議会閉会中の委員会活動状況を報告します。



議会改革特別委員会

議員倫理条例の制定を協議

四月一六日及び五月二九日に委員会を開催し、委員からの提起事項である議員倫理条例等の制定に関する協議を行った。

議員がみずから律することが基本であり、条例制定は不要とする委員から、議員倫理条例等を制定した場合の機能発揮に疑問が残るものの、審議の結果によつては、制定しないこともあり得るとの前提のもと、審議に入ることの了解が得られ、さらに、三会派から条例案が提起されていることなどから、条例制定に向けて検討を進めていくことの合意に至った。

さらに、検討に当たっては、今回提起の条例案や他市等の条例も参考とする中、議員を対象を絞った政治倫理条例とし、原案を作成し

た上で、これをもとに協議していくことが確認された。

原案作成後の協議では、原案に対する積極的な反対意見はなかったものの、市長や特別職も対象とすべしとの意見や条文中の議員に係る倫理基準に納税証明書等の提出を加えてはどうかとの新たな提案が出されたため、次回の委員会以降の協議に委ねることとした。

医療問題特別委員会

伊東市新市民病院基本設計に対する協議

伊東市新病院建設基本設計について、当局から概要説明がされ、これに対する協議が行われた。

委員から、プロポーザルと比較する中で、全体の形及び配置の大幅な変更等がされたことに対し、プロポーザルの最大のアピールポイントであった「利用者に優しい病院づくり」が後退



新市民病院の外観図

したのではないかとする意見等が述べられた。

これに対し当局からは、プロポーザルは、設計業者を決定するために実施したもので、各施設の機能的な配置及び利便性に配慮した設計に加え、創造性、高い技術力、経験等を加味する中で当該基本設計業者を選定したとの説明がされるとともに、建築費の削減を図るため、設計業者と協議を行い、建物形状の変更とともに各施設の配置転換により、延べ床面積の削減が図られたとの説明がされた。また、実施設計に向け、議員や市民等の意見等を聴取し、総合的に調整する中で、反映していききたいとの意向が示された。

9月定例会の予定

(いずれも午前10時から始まります。)

2日	本会議 (市長決算説明)
10・11日	代表質問
14・15日	一般質問
16日	議案審議
17・18日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
24・25日	常任総務委員会
30日	本会議 (最終日)

※ 8月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

去る五月二四日、市長選挙及び市議会議員補欠選挙が実施されました。

投票率は、六〇%を超え、市政に対する市民の関心の高さと期待の大きさを改めて認識いたしました。

市議会としても、新たに二人の議員を迎える中で、議員の果たすべき役割を再確認し、市民の負託にこたえていきたいと思えます。

(委員長)

議会報編集委員会

委員長	西島 彰
副委員長	井戸清 司
委員	竹田昭 直
委員	鳥居康 子
委員	重岡秀 子
委員	稲葉正 仁

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号

TEL (三三) 一九八一

FAX (三八) 六九一六

次回九月定例会は

九月二日開会予定です